

# 日本看護歴史学会

## 會報

日本看護歴史学会  
第18号  
1994年5月31日

### 看護史家が歴史に語らせるときがきた

小玉 香津子

大会の時季がまためぐりきて、看護史研究の昨今をそれこそあらためて思う。

一つ、記述的研究とか質的研究とかといった言葉が飛び交うようになるにつれ、歴史研究の意義が見直されてきた。看護学は分析や分類ばかりでは成り立たず、おのずから総合の仕事が求められ始めたのだらう。あれこれの主題の優れた総説が欲しい、と最近よくきくにつけ、私はそうした動向を感じる。

もう一つ、以前のように歴史研究はリサーチではないと決めつけられることが少なくなった。数量ではないデータ一般の場合に準じて、歴史データについても信頼性や妥当性の問題に共通理解が進ん

できたからだろう。確かな研究手順を踏んでなされる「常識的歴史解釈の覆し」は、リサーチによる発見以外の何物でもない。

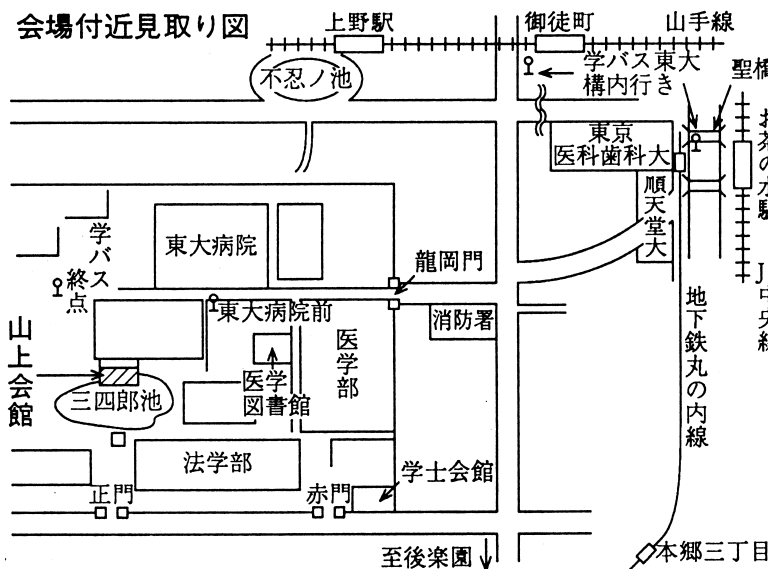
この夏われわれが「看護教育の歴史」をテーマにするのは、教育の動きが目に見えるような今の時代を、歴史研究の成果を投入する好機とみなしてのことだろう。看護教育といえ、今世紀の半ば過ぎまで、看護研究はほかのどの種の研究よりも看護教育研究が圧倒的に多かった。やがてそれではないかと看護それ自体の研究が奨励され、ケア研究なるものの現在の隆盛を見るに至る。しかし、看護が訓練を必要とする専門職であるからには看護婦の養成ないし教育は看護界の核心であり、教育研

究が軽んじられてよいわけはなくむろん、主流ではなくなったとはいえ脈脈と続けられてきた。「看護教育の歴史を振り返る」にあたっては、その辺の経緯も含めて看

護教育研究史にも取り組んでみたい。  
われわれは歴史に語らせることができる。

### 第八回大会会場の御案内

- 交通機関
- ◆ JR山手線 上野駅、御徒町駅下車 徒歩約15分
  - ◆ JR中央線 お茶の水駅下車 徒歩約15分
  - いずれも、学バス（150円）あり。東大病院前下車 徒歩1分
  - ◆ 営団地下鉄丸の内線  
お茶の水駅下車 徒歩約15分、本郷三丁目駅下車 徒歩約7分



### 第八回日本看護歴史学会大会

「今、あらためて、看護教育の歴史を考える」

前号で御紹介したように、今年  
の大会では、現在、看護界が直面  
している新たな歴史の変節期とも  
いえる看護教育レベルの大幅な刷  
新時代を迎えていることに鑑みま  
した。

教育は「国家百年の大計」であ  
り、従って長期的展望をもって計  
画・実施されるべきものであると  
すれば、すなわち、過去数十年間  
の歴史を検証することが必然的に  
今後の展望への示唆となるといえ  
ます。今回は、このメインテーマ  
に即し、看護教育界の先達のお三  
方に御教示頂きます。

また、歴史研究の方法について  
一昨年、大変好評であった内海孝  
氏に再登場してもらうことになり  
ました。

#### ◆ 会場

東京大学山上会館  
東京都文京区本郷七―三―一  
(東大構内三四郎池畔)

☎〇三―三八―二―二―一一代  
※事務経由で呼び出しのこと。

#### ◆ 参加費(両日共通)

会 員 二千元  
非会員 三千元

学 生 千五百円(学生証呈示)  
※本号に同封の振込用紙を御利用  
下さい。

#### ◆ 開催日程

第一日目 八月一九日(金)

一三時 開場・受付開始

一三時三〇分―一五時

特別講義

「歴史研究とその方法(2)」

― 蘭医の誕生 ―

東京外国語大学教授 内海孝氏

司会 武藤美知氏

一五時一〇分―一六時

問題提起

「看護史研究の現状と問題点」

亀山美知子氏

一六時―一六時三〇分

第八回日本看護歴史学会総会

※議長団選出のこと。

第二日目 八月二〇日(土)

九時 開場・受付開始

九時三〇分―一〇時

会員による研究発表

※発表申し込み要領については別  
記参照のこと。

一〇時―一二時

分科会および、各経過報告

正午―一三時

懇親会(立食)

参加費 千円(参加申し込みの  
際、必ず出欠を付記のこと)

一三時三〇分―一五時三〇分

放談会

「今、あらためて  
看護教育の歴史を振り返る」

発言者

吉田時子氏(聖路加女専出身)

園部 梅氏(秋田日赤看護婦養  
成所出身)

鈴木一子氏(東大看護学校出身)

コーディネーター

川島みどり氏

一六時三〇分閉会

総合司会・草刈淳子氏

#### ◆ 参加申し込み方法について

近年、会員の申し込み件数が非  
常に少なくなっております。当日  
参加も可能ではありますが、事務  
処理上、大変繁雑になっておりま  
すので、必ず参加申し込みを事前  
に行なって下さい。

- 1. 参加日(初日・両日等の別)
- 2. 第二日目の懇親会参加の有無
- 3. 分科会関心分野の付記
- 4. その他連絡事項

#### ◆ 研究発表申し込み要領

会員による研究発表については  
左記の要領で事務局へお送り下さ  
い。

1. 研究テーマ・研究者氏名(複  
数の場合は全員の氏名を列記)
2. 発表の要旨
3. B5判四〇〇字詰原稿用紙に  
縦書で二―三枚程度
4. 返信用封筒を同封のこと
5. 申し込み先
6. 千葉市中央区亥鼻一―八一―  
千葉大学看護学部看護実践研究  
指導センター 鶴沢陽子 気付
7. 日本看護歴史学会事務局
8. 封書に研究発表申し込み朱書
9. 応募締切
10. 六月末日当日消印可

